

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) セイブンリダイカク	フリガナ) サービスケイエイガクブ	フリガナ) タカセゼミ
西武文理大学	サービス経営学部	高瀬ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ブンリーズ	フリガナ) イシハラユカ	7	無	
ブンリーズ	石原有華			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

学内で実施したアンケート

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

離職率を下げるには

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いします。

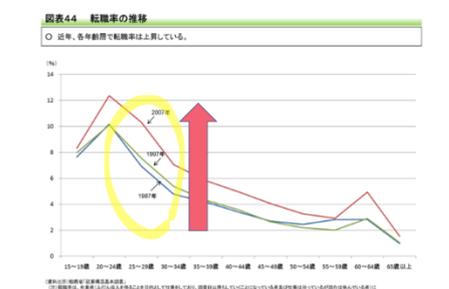
1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちは現在、問題となっている若手社員の早期離職を防ぐための研究を行っている。学生にアンケートを行い求める企業像を把握し、離職前に企業の本質を知る機会を作ることになり、学生と企業のミスマッチを減らすことによって、早期離職を減らす事を狙いとして活動を行っている。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在、早期離職率は、年々増加傾向にある。(図1) その要因として、社風や職業内容を重視する求職者が年々増加しているため、入社後自分が想定している仕事内容や説明会などで感じた、社風が実際に働くうえで、ミスマッチする現象が発生しそれが要因と考えられる。

図1



3. 研究テーマの課題

現在、早期離職率は増加傾向である。実際に本校の4年生にアンケートを実施したところ、企業を選ぶ際、その企業の雰囲気や社風を一番に気にしていることがわかった。そこで私たちは入社前と入社後の企業に対する社風や雰囲気などの感じ方のミスマッチによって離職率が増えているのではないかと考えた。

つまり、早期離職を防ぐにはそのミスマッチをなくすことが課題として挙げられる。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちはこの課題を「見学会」を開くことで解決を目指す。見学会とは、インターンシップとは異なり小学生の時に体験した社会科見学のような気軽に参加できる見学会のことだ。大きな特徴として匿名で参加を条件とし学生が変に緊張することなく企業を見学できるようになることが目的だ。主なメリットとして、これは大学1, 2年生を対象に行う。そのため実際の就職活動の時期とはかぶらず、さらには顔が覚えられてしまうのではないかとという心配がいらぬ。企業側にとっても、この見学会によって離職率が減少すれば教育研修費の削減、採用の経費も削減できる。また今回私たちはもう一つ提案する。この見学会にはデメリットがありそれはやはり完璧には企業の本質が見えないということだ。そこで、この見学会に参加した学生同士の意見交換の場のようなサイトを作ってはどうだろうと考えた。そうすることで、自分では気付けなかった情報や新しい味方が発見できるだろう。この二つの提案で、離職率の減少につなげていく。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

本学の4年生 133名を対象に就職に関するアンケートを実施。（図2）

本学の周辺に的を絞って、周辺の企業にアポイントをとり自分たちの活動を提案した。

図2



6. 結果や今後の取り組み

学生が企業に何を求めているものかを、アンケートを通して生の意見を聞くことができ、それを企業側に伝えることにより、企業がわから学生に対する見方を変えることができた。

会社を匿名で見学することができるようになることによって、その会社のありのままを見ることができ、学生のための環境を作ることができる。そのような環境を整えることによって、学生が自分に合った会社を見つけることができる。よって離職率が下がる。そのために匿名で見学することのできる会社を増やし、WEB サイトを作成し学生が見学に足を運んだ、企業の意見交換ができる場を広げていく。

7. 参考文献

スライド 2 枚目グラフ 総務省「就業構造基本調査」

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください